

Hirosaki Houtokukai Public Relations

Santa Journal vol.13

第19回夏祭り

ご来場まことに
ありがとうございました！



相撲甚句の会

今年の司会を務めた
キューティプロンズの2人

メインは黒石八郎さん
唄・踊り・トークで盛り上がりました。

高杉保育園

平成27年7月25日（土）、第19回サンタハウス弘前の夏祭りが開催されました。

午前中は大雨で天候が危ぶまれましたが、お昼前には雲間から太陽が見え、椅子が足りなくなるほどたくさんの方が会場に見えました。

今年のイベントは青森県内で活躍する吉本興業所属のお笑い芸人キューティプロンズが司会を務め、漫才やオカリナを使った芸を披露して会場を笑いで包みました。

高杉保育園「らいおん組」（年長）園児23名による和太鼓演奏、相撲甚句の会による甚句唄、そしてメインイベントは黒石八郎さんの唄とトークで会場が湧きたちました。

露店では、屏風山のスイカやメロンなどの物産販売の他、定番の百円メニューが並びました。目玉商品の鱈ヶ沢名物イカ焼きと木村牧場の豚焼肉を目当てに行列ができ、多くの方が舌鼓をうちました。

「や～腹コ抱えて笑ったじゃ」「元気出たな～」という会話が聞こえました。



災害現場経験者から、あなたへ。 災害時、本当に役立つ備えとは？

平成27年9月26日（土）10時より、弘前市総合学習センター2階大会議室にて、災害対策セミナーが開催されました。午前・午後の部に分かれ、講師の方の実体験に基づいた防災・減災対策について伺いました。

福祉・医療施設の従事者や、防災に興味のある一般市民などのべ120名が参加し、災害が起きた時に有効な行動は何か、減災につながる訓練とはどのようなものか学びました。



午前の部

「東日本大震災前・後に実施している防災対策」

入澤 美紀子氏 医療法人勝久会 高田施設 看護部長（陸前高田市）



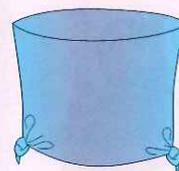
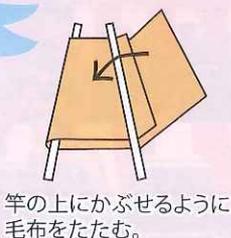
入澤さんは、東日本大震災時、介護老人保健施設で勤務しており、施設入所者の避難に努めました。陸前高田市は以前より津波が来ると言われており、事前に震災クラスを想定した避難訓練を何度も行っていたそうです。

入所者様には寝たきりの方が多かったのですが、簡易担架で

水平移動を可能にし、階段ではおんぶして避難しました。

震災後も職員同士で話し合いを重ね、減災の為にアイデアを出しあって改善につなげているそうです。また、ご近所や地域との普段の助け合いが非常時にも大変助かったことをあげていました。

簡易担架の作り方



トイレは、ビニール袋におむつや吸水パッドを入れたものを用意。角に水がたまるのであらかじめ両角は結びます。お金をかけずにある物で工夫します。

午後の部

「アクションカードによる減災対策」

中島 康氏 東京医科歯科大学 救命救急センター 医師

スタッフ1 (第1発見者) スタッフ2 (応援職員) 責任者

初期消火

1. 「火事です！」と叫べ
2. 火元の患者を廊下へ避難させよ
3. 自分の安全を確保せよ
 - ・ヘルメット・マスクを装着
 - ・煙に注意！（タオルなどで口鼻を覆え！姿勢を低くせよ！）
 - ・排煙装置を起動！
4. 消火器で消火作業を始めよ
5. 防災センター勤務員の到着まで作業を続けよ
6. 作業を受け渡したら、責任者へ報告せよ

- ・天井に達する火災は「延焼」
- ・「延焼中」と大声で叫び、責任者に報告せよ
- ・部屋の扉を閉めて退避せよ

大災 1/5

国際緊急援助隊救助チーム医療班でもある中島先生からは「アクションカード」について教えていただきました。

アクションカードとは、災害時の立場（第一発見者、応援職員、責任者等）により、担当する役割や行動を1枚の紙にまとめたもの。

例) 火災の第一発見者のアクションカード。
すべきことが上から順に記載してあります。一番上の太枠には、すぐに行くことを命令調で、一番下の枠はひとつ息ついたら始める事を記載します。上の枠の行動が終わったら次の枠の行動をします。



ポイントとして、災害対応は「指示する人」と「行動する人」に分けた方が有効なことや、訓練を行う際も「する人」「個別の様子を観察する人」「全体を見る人」に分けてローテーションすると効果的であることなどを教えていただきました。

敬老会



下山政徳会長より
「長く生きた人はそれ自体が無形の財産です。頑張って
長生きしてください」とお祝いの言葉がありました。



ふじ保育園の子どもたちとふれあい
遊びを楽しみました。



白寿のお2人も
いい笑顔でした。

9月15日(火) 介護老人保健施設サントハウス弘前



職員余興で盛り上げました。

9月21日(月)
デイケアセンターサントの家



↑職員余興は大喜利でした。テーマ
は「あき」です。テレビでもおなじみ
の「座布団もってっちゃって!」の声
に利用者様は大爆笑でした。

↳利用者様のカラオケでバックダンサー
をしたり、「麦畑」を歌ったり、職員が盛り
上げました。

9月25日(金)
デイサービスセンターサントハウス弘前
デイサービスセンターもみの木ハウス



隣接する西部児童センターより
子供たちが来てお祝いしてくれました。

9月19日(土)
老人福祉センター瑞風園



あ、さて、さて、さては南京玉すだれ♪

9月24日(木)、
25日(金)
デイサービスセンター
きらら弘前

避難訓練

弘前豊徳会では、定期的に避難訓練を行っています。

今年度は6月22日(月)に夜間に火災が発生した想定
の避難訓練を、9月24日(木)には地震発生からの火災を
想定した避難訓練を行いました。



消火器の使い方訓練の様子。



利用者様も訓練に参加しました。

夏祭りの思い出



千本引きで掃除機や炊飯器など大物を引き当てました!



東日本大震災被災地から広域避難した方も夏祭りを楽しみました。



屏風山のスイカ・メロン・バナナ完売です!



シャツにサインを書いてもらいました。

職員総合研修室からのお知らせ

職員総合研修室では、より良いサービスを提供できる職員の育成を行っています。

このたび、外部講師をお招きして講座を開催します。サンタハウス弘前の職員だけでなく興味のある方はぜひご参加ください。

「経腸栄養の最新の話」

経腸栄養の基礎知識と最新の話についてのお話です。経口摂取が困難な方へ、栄養供給を苦しまず安全に実施する技術・ケア方法を正しく理解しましょう!

講師: 荒浪克広氏(株式会社大塚製薬)
日時: 10月28日(水)17:00~18:00

「インフルエンザ・ノロウイルスについて」

感染症の増加する時期です。正しい知識を身につけ、入居者様の安全を守りましょう。

講師: 田中正彦先生(田中外科内科医院)
日時: 11月24日(火)
※時間は未定です。

場所: サンタハウス弘前7号館1階研修室

お問合せ・お申し込みは0172-99-1255(職員総合研修室/浅原まで)

社会福祉法人 弘前豊徳会 広報誌 サンタジャーナル

Santa Journal

通算第13号
発行日 平成27年9月30日
製作 社会福祉法人 弘前豊徳会
サンタジャーナル編集部
発行責任者 阿保英樹
編集者 川村加奈子

〒036-8311
青森県弘前市大字大川字中桜川18番地10
TEL0172-99-1255 FAX0172-99-1256
URL <http://houtokukai.org/>
ブログ <http://blog.houtokukai.org/>
Eメール santa-h@chive.ocn.ne.jp